

## 2 神戸まちづくり協議会

基本目標

よりよく、住みやすいまち 神戸



かつて神戸城の天守閣上に輝いていた現在の鯨一基を地区旗の意匠としており、地区色は「あか」で、地区発展にしめす住民の方の燃える心意気を表しています。

1

### 神戸まちづくり協議会って？

神戸地区は、鈴鹿市役所・鈴鹿税務署等がある行政の中心地区として、白子地区、牧田地区とともに、鈴鹿市の3つの核となっています。

古くは、神戸城の城下町として栄え、伊勢街道の宿場町でもあり、現在も当時の町並みを残し、見付跡や常夜灯のほか、道標なども当時のまま残されています。

その中で、「よりよく、住みやすいまち 神戸」を基本目標に、神戸地区で生活している全員が主役となり、町全体に活力と笑顔が満ち溢れ、輝くまちになるように活動しているのが神戸まちづくり協議会になります。



▲神戸公園の神戸城跡

2

### 主な取組

協議会では、各部会に分かれ様々な幅広い活動を行っています。

- ☆地域活性化・環境改善部会…神戸公園にイルミネーション設置
- ☆スポーツ振興・青少年育成部会…スポレクカーニバルの開催
- ☆文化教育・広報部会…地域の危険箇所注意喚起看板の設置
- ☆自主防犯・防火部会…防災講演・訓練の実施 など

神戸高等学校放送部をはじめとする地域の方々・団体と連携し「よりよく、住みやすいまち 神戸」を目指して様々な取り組みを行っています。

皆さん真剣に取り組み  
防災意識が向上しました！



神戸公園  
イルミネーション▼

イルミネーション3年目の今年は  
約3万球のLEDが  
冬を彩りました！



▲消火器使用体験

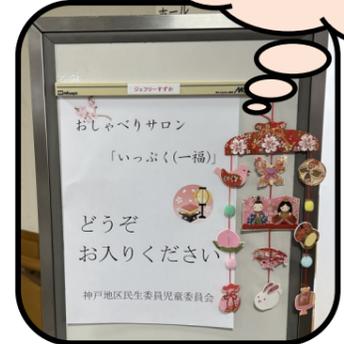
3

### 今回紹介するのはこの事業！

令和7年2月27日に民生委員児童委員会が開催した、おしゃべりサロン「一福(いっぷく)」について紹介します。

この事業は、民生委員が普段見守りをしている方をお誘いし、みなでおしゃべりすることで、地域とのつながりやフレイル予防につながるよう企画されたものです。

会場は可愛らしく  
飾りつけされており、  
温かい雰囲気でした！



4

### どんな課題や思いがあるの？



民生委員児童委員会

一人暮らしの方は、人と話をする機会や出かける機会が少なくなってしまうので、少しでも外に出るきっかけになって、皆さんの気分転換になればと思い、15年ほど前から企画しています。

毎回20～30人ほどの方に参加していただき、皆さん楽しそうにおしゃべりをされているので、企画側としてもうれしいです！

地域のつながりの中で、皆さんがいそいそと過ごしていけるように、今後も続けていきたいと思っております！

5

### その事業が生まれるまで！

一人暮らしの方の外出の機会を増やし、地域と関わるきっかけを作ることを目的として、お楽しみ会やバス旅行などを1年に3回企画していました。

その中で、家の周辺で、近所の方と集まって話ができる場所がどんどんと少なくなり「気軽におしゃべりをする場所が欲しい」との声から、今の形の事業が生まれました。



▲おしゃべりサロン「一福」の様子

6

### その事業に参加した人の声



- ・人と会う機会が少ないため、こういう機会があると、人と話せて気分転換になる。
- ・出かけるきっかけになるので、これからも参加したい。
- ・入退室が自由なので、気軽に参加できて良い。
- ・顔見知りが増えてうれしい。